

定期刊行物コード（雑誌）
登録とソースマーキングのガイド

2014年版（2014年10月）

発行

雑誌コード管理センター

はじめに

共通雑誌コード管理センターから、2003年12月に「定期刊行物コード（雑誌）登録とソースマーキングのガイド」といういわゆる共通雑誌コードの手引書を発行し、出版業界各位に定期刊行物コード（雑誌）に関する理解を深め、間違いのない運用を図ってきましたが、この度、およそ11年ぶりにその手引書を改訂する運びとなりました。

共通雑誌コード管理センターは、2012年4月に日本雑誌協会からJPOへと移管され名称を雑誌コード管理センターに変更しました。その後2014年6月で、2004年に定期刊行物コード（雑誌）が新コード体系として施行されてから10年を経たちょうど節目のタイミングに、この改訂作業を行いました。まさに定期刊行物コード（雑誌）で年号を表す一桁コードが、10年で一巡するという時期であり、また2014年4月1日には、消費税率が5%から8%へ変更となっており、出版業界内では、定期刊行物コード（雑誌）についても衆目を集めたタイミングでもありました。

主たる改訂箇所の例として、登録時に必要な費用等をアップデートの他、現状に即した関連部署名等に改めると同時に、明瞭でわかりやすい表現にも努めたことは言うまでもありません。最も大きい変更は、これまでは、当手引書を冊子にして有料で販売してきましたが、今回より、当ガイドをデジタル化し、PDFファイルを無料でダウンロードできるように変更いたしました。PDF化により、規定に変更があった場合は、迅速にアップデートできるように対応が可能となります。これにより利用者各位は、費用負担の軽減は元より、常に最新の規定にアクセスできることとなり、利便性を向上させることができると考えます。

当ガイドをリリースの後、定期刊行物コード（雑誌）の目的、雑誌コードに関する沿革、雑誌コード管理センター・雑誌コード管理委員会の構成等、定期刊行物コード（雑誌）に関連する周辺情報について、JPOのホームページ内に雑誌コード管理センターの専用ページを設けて、掲載していく予定をしています。

今回の改訂に際して、何度もミーティングを行い、推敲を重ねた関係各位には、この場を借りて、改めて感謝を申し上げます。

出版業界各位には、定期刊行物コード（雑誌）について、今後ともご理解を賜り、円滑な運用が図れますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年10月17日
雑誌コード管理センター
雑誌コード管理委員会
委員長 大山恒生

目 次

◆ 出版業界における流通コードの体系	1
◆ 定期刊行物コード（雑誌）について	
1. 定期刊行物（雑誌）へのバーコード表示	2
2. コード体系	3
3. 雑誌コードの概要	5
4. 定期刊行物コード（雑誌）および雑誌コードの表示方法	6
5. ソースマーキングの流れ	9
6. チェックデジットの計算方法	10
7. 定期刊行物コード（雑誌）の登録、更新、変更等の諸手続きについて	12
◆ その他雑誌扱い出版物（雑誌扱いコミックス・ムック）について	15

◆出版業界における流通コードの体系

現在、雑誌コードの管理・運営は雑誌コード管理センターが行っており、コード運用については雑誌コード管理委員会にて決定されます。管理委員会は出版社・取次会社・書店などのメンバーで構成され、コード運用の問題が生じた際は、管理委員会にて検討します。

現在の出版業界における流通コードの体系は、以下の通りとなります。

分類	可読コード	自動認識コード
雑誌	雑誌コード	定期刊行物コード（雑誌） （JANシンボルとアドオンシンボル）
コミックス・ムック （雑誌扱い）	雑誌コード ISBNコード	書籍JANコード （JANシンボル）
書籍 （書籍扱いコミックスも含む）	ISBNコード	書籍JANコード （JANシンボル）

各コードの管理元

- ◎雑誌コード 一般社団法人 日本出版インフラセンター内
雑誌コード管理センター
(申請窓口は (株)トーハン 雑誌仕入へ業務を委託)
- ◎定期刊行物コード（雑誌） 一般財団法人 流通システム開発センター
(申請窓口は (株)トーハン 雑誌仕入へ業務を委託)
- ◎ISBNコード 一般社団法人 日本出版インフラセンター内
日本図書コード管理センター
- ◎書籍JANコード 一般財団法人 流通システム開発センター
(申請窓口は日本図書コード管理センターへ業務を委託)

*雑誌扱いコミックス・ムックには雑誌コードとISBNコードと書籍JANコードを表記しますが、書籍JANコードを表記する場合は、出版社ごとにJANコードの管理元である一般財団法人 流通システム開発センター（申請窓口は日本図書コード管理センター）へ登録申請をする必要があります。

各コードの登録申請窓口

- ◎雑誌
 - ・雑誌コード (株)トーハン 雑誌仕入
 - ・定期刊行物コード（雑誌） (株)トーハン 雑誌仕入
- ◎雑誌扱いコミックス・ムック
 - ・雑誌コード (株)トーハン 雑誌仕入
 - ・ISBNコード 日本図書コード管理センター
 - ・書籍JANコード 日本図書コード管理センター
- ◎書籍扱いコミックス
 - ・ISBNコード 日本図書コード管理センター
 - ・書籍JANコード 日本図書コード管理センター

◆定期刊行物コード（雑誌）について

1. 定期刊行物（雑誌）へのバーコード表示

わが国の流通では、一般の商品については、JAN コードを JAN シンボルで表したバーコードが広く普及し、使用されています。

JAN コードとは、商品を識別するための 13 桁のコードであり、商品のブランドオーナーが商品ごとに設定します。JAN コードは、機械で自動読取ができるよう、JAN シンボルという縞模様に変換され、商品に印刷表示されます。

商品に表示された JAN コード・JAN シンボルを、店頭での POS システムで読み取ることにより、レジ精算の効率化や、単品ごとの販売情報の把握が実現されました。さらに、JAN コード・JAN シンボルは、入出荷管理・在庫管理や受発注にも活用されています。

定期刊行物（雑誌）についても、この仕組みを利用して一般の商品と同様に業務の効率化を進めるため、雑誌用の仕組みが導入されました。

1986 年には、JAN コードに準拠した 13 桁で、雑誌コード、月・号、定価を表わす「共通雑誌コード」が制定され、雑誌への JAN シンボルによるソースマーキング^(注1)が始まりました。

2004 年には、「共通雑誌コード」の体系に対し、アドオンコード^(注2)を追加するなどの改定が行われ、名称を「定期刊行物コード（雑誌）」と変更し、実施されました。

現在、雑誌などの定期刊行物は一般の商品と同様に広く小売店頭で販売され、また、広く流通している商業雑誌については「定期刊行物コード(雑誌)」がほぼ 100% ソースマーキングされています。

【用語説明】

注1 ソースマーキング：

商品のブランドオーナーが出荷段階で商品にバーコードを印刷表示すること。この項では、特に出版者(社)が雑誌に対して印刷段階でバーコードを印刷表示することを意味する。

注2 アドオンコード：

GS1^(注3)が制定した2桁もしくは5桁の補助コード。

注3 GS1：

GS1(旧国際EAN協会。2005年1月に名称変更)は、流通業界で標準化されている共通商品コード、バーコードシンボルなどの流通情報システムの基盤の開発と普及を世界的に推進している。現在100ヶ国以上が加盟しており、日本は1978年に加盟した。

2. コード体系

▶ 定期刊行物コード（雑誌）の概要

(1) 定期刊行物とは

- ◆ 定期刊行物とは、一定期間を置きながら同じタイトルで発行する連続刊行物で、雑誌・新聞などを指します。

(2) 定期刊行物コード（雑誌）とは

- ◆ 販売(POS)や物流などにおいて、定期刊行物を識別するために最小限必要な情報を JAN コード体系に準拠して表現したものです。雑誌を対象とするため「定期刊行物コード（雑誌）」と呼ばれます。
- ◆ 対象となるのは、週刊誌・隔週刊誌・月2回刊誌・月刊誌・隔月刊誌・季刊誌・臨時増刊号・別冊などです。
- ◆ 定期刊行物コード（雑誌）を雑誌に表示する場合は、雑誌コードの取得及び、定期刊行物コード（雑誌）の登録申請が必要です。
手続きについては P.12 を参照して下さい。
- ◆ なお、雑誌扱いコミックスとムックのバーコード表示は、2 段型の書籍 JAN コードを使用します。

(3) 定期刊行物コード（雑誌）体系

- ◆ JAN コードに準拠した 13 桁のコード体系 [以下、JAN コード（準拠）] に、価格を表現するための 5 桁のアドオンコードを付加し、合計 18 桁で構成されています。

コード体系【 JANコード（準拠） + アドオンコード体系】

4 9 1	0	Z ₁ Z ₂ Z ₃ Z ₄ Z ₅	V ₁ V ₂	Y ₁	C	0	P ₁ P ₂ P ₃ P ₄
フラグ	予備コード①	雑誌コード	号数	年号	CD	予備コード②	本体価格
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
JANコード（準拠）						アドオンコード	

表示項目①～⑧の説明

- ① 4 9 1 フラグ = 定期刊行物コード用フラグ 3 桁
- ② 0 予備コード① 1 桁（当面雑誌は『0』を使用します）
必要に応じて以下への対応も視野に入れていますが（現時点では未定）
⇒雑誌コード5桁が満数になった場合
⇒新聞その他の定期刊行物においてコードを使用する場合
- ③ Z₁Z₂Z₃Z₄Z₅ 雑誌コード5桁
取得している雑誌コードを使用します。
新しい雑誌コードが必要な場合は別途取得して下さい。

- ④ V₁V₂ . . . 号数 2桁
雑誌の「号数」あるいは「月号」を2桁で表示します。
週刊誌、月刊誌は発行月を表示します。
- ⑤ Y₁ . . . 年号 1桁
年号は西暦の下1桁を表示します。(例)2005年 → 5
10年毎にJANコード(準拠)が重複しますが、そのままの表示を
します←詳細は下記*注を参照
- ⑥ C . . . チェックデジット 1桁
定められた計算式によって算出された数字を表示します。
計算式についてはP.10を参照して下さい。
- ⑦ 0 . . . 予備コード② 1桁(当面雑誌は『0』を使用します)
必要に応じて以下の対応も視野に入れています(現時点では未定)
⇒非再販商品対応(時限再販及び部分再販など)
⇒消費税、その他の対応
- ⑧ P₁P₂P₃P₄ . . . 本体価格 4桁
本体価格を円単位で表記します。
(例)838円 → 0838
本体価格が10,000円以上の雑誌は全て"0000"と表記します。
(例)15,000円 → 0000

アドオンコードのチェックデジット

アドオンコードのチェックデジットはバーコードには表記されません。定められた計算式によるチェックデジットを、バーコードの表示方法であるパリティの組み合わせで検算する「パリティチェック方式」が採用されています。計算式についてはP.11を参照してください。

*注

2004年より西暦1桁目をJANコード内に組込む運用が開始され、10年経過の2014年を迎えるにあたりJANコードが重複する問題(下記事例)について管理委員会にて検討しました。

〈事例〉 雑誌『A』… 2004年7月号 JANコード(準拠)=491 0 09971 07 4 1

雑誌『A』… 2014年7月号 JANコード(準拠)=491 0 09971 07 4 1

(但し、重複する雑誌は2004年6月から同じ雑誌コードで現在も休刊することなく刊行が継続している定期雑誌の本誌及び、その増刊別冊の『バックナンバー』に限定されます)

検討した結果、定期刊行物は販売期限が決められており、重複するバックナンバーの発生頻度は極めて低いことから現行の西暦1桁目の運用を継続することになりました。

3. 雑誌コードの概要

雑誌コードは 1978 年 3 月に改正・制定された 5 桁のコードで、雑誌の標題（誌名・タイトル）ごとに設定される商品番号です。

雑誌コード管理センターより付与され、市販されている雑誌の裏表紙（表 4）に 5 桁のコードと 2 桁の月号数をハイフンでつなぎ、印刷表示されています。

雑誌の単品管理を行うにあたり、どの雑誌の何月（何週）号か、あるいは第何号であるかが、雑誌コードで識別することができます。

また、POS システムが導入されていない店舗での販売管理や、返品処理が自動化されていない店舗では、雑誌コードで商品分別を行っているため、雑誌コードの正しい表示が必要不可欠となります。

雑誌コードは、その雑誌の発行形態（刊行形態）によって運用方法が異なっていますので、出版者（社）におけるコード設定や、書店など小売店でのシステム設計等の際には、雑誌コードの仕組みについて十分理解しておくことが重要となります。その仕組みについて下記に表しました。

【発行形態の見分け方】

○雑誌コード「Z1 Z2 Z3 Z4 Z5」- 月・号「V1 V2」

「Z1」の意味		「Z5」の運用方法	「V1 V2」の運用方法
0	月刊誌 (隔月刊 ・季刊含む)	通常号（本誌）は奇数 別冊・増刊号は末尾「Z5」に+1し偶数となる 「Z5」が9の場合、繰り上がって「Z4」「Z5」が変わる	発行月 (01～12)
2	週刊誌 (隔週刊 ・月2回刊 含む)	※同じ月の発行週（1～5週） 1：第1週発行日（1～7日号） 2：第2週発行日（8～14日号） 3：第3週発行日（15～21日号） 4：第4週発行日（22～28日号） 5：第5週発行日（29～31日号） 6～9：増刊・別冊号	発行月/日号 発行月/日号 発行月/日号 発行月/日号 発行月/日号
4	コミック	バーコードは書籍 JAN コード体系	通巻 (01～99)
6	ムック	バーコードは書籍 JAN コード体系	通巻
7	オーディオ商品	バーコードは書籍 JAN コード体系	
8	直販誌 80 月刊誌 81 月刊誌 82 週刊誌 83 週刊誌 84 週刊誌 85 新聞 86 月刊誌 87 月刊誌 88 週刊誌 89 月刊誌	月刊誌の体系に準じます " 週刊誌の体系に準じます " " 月刊誌の体系に準じます 月刊誌の体系に準じます " 週刊誌の体系に準じます 月刊誌の体系に準じます	発行月 " 発行月/日号 発行月/日号 発行月/日号 通巻 発行月 " 発行月/日号 発行月
9	PB 商品		

※コミック・ムックは、5 桁のシリーズコードに対し 99 本刊行が可能です。99 号以降は、新たな 5 桁のコード（繰り上がり）の申請が必要となりますので、雑誌コード管理センターに申請を行ってください。

※「3 コード」：2013 年 8 月より「2 コード」体系に準じ運用開始。

※雑誌扱いコミックス・ムックについては P.15 の◆その他雑誌扱い出版物（雑誌扱いコミックス・ムック）をご参照下さい。

※ ISBN コード国際規定（ISO2108）により、オーディオ商品とは、オーディオブック、テープ、CD、DVD（教育目的）

4. 定期刊行物コード（雑誌）および雑誌コードの表示方法

(1) 定期刊行物コード（雑誌）の表記構成

- 雑誌コードとバーコードユニットの組み合わせが必須条件で、双方を必ず併記して印刷表示します。

併記表示については、P.8 の例図 1 から例図 4 のように判別しやすいように印刷を行わなければなりません。

(2) 雑誌コードとバーコードユニットの表示位置について

- 雑誌の裏表紙（表 4）の下段に必ず雑誌コードとバーコードユニットを併記表示。
（再販指定商品の場合は、「定価・本体」表示も必要）

【雑誌コード】

- 5桁の雑誌コードと2桁の月号数をハイフンでつないだものを表示する。
- 写植13級活字歯送り・活版は9ポイント活字ベタ組みで、正体ゴシックを使用する。
- 表示位置はバーコードユニットと天揃えにする。

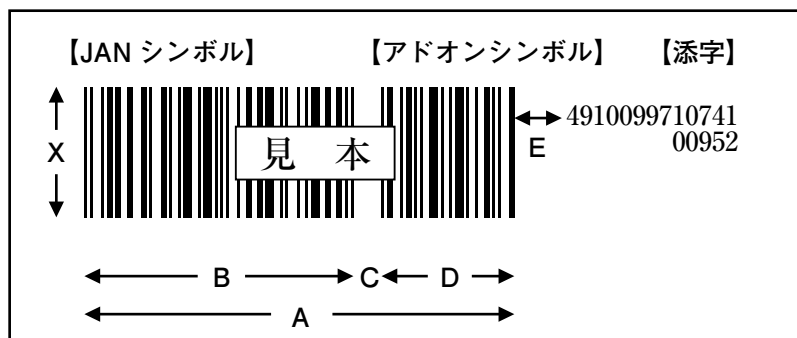
【バーコードユニット】

- 表示位置は、基本的に裏表紙（表 4）の下段の綴じ（背）側とする。
 - 白地に墨色で表示（地色がある場合はバーコードユニットのスペース分を白まで対応）する。
 - 印刷段階でのシンボルの高さは15mm以上（製本上の断ち落とし（三方断裁）の縮小を考慮して実効12mm確保は必須）とする。
- ◆定期刊行物コード（雑誌）を雑誌のどこに表示するかが、重要なポイントになります。
以下に挙げる点を考慮し定めていますので、十分に理解し作成して下さい。

- ①店舗などで売上処理をする時にわかりやすい等、各種の店舗オペレーション上で支障が無い読み取りやすい場所であること。
- ②物流現場において、業務がスムーズに処理されること。
- ③流通上のコードの破損・汚損を最小限に抑える配慮。

(3) バーコードユニットの定義

- シンボルと添字を合わせたものを指す。



※左記のバーコードユニットは
実寸ではありません。

【シンボル】

- 定期刊行物コード（雑誌）から作られるシンボルを指す

A JAN シンボル全長 = 約 50mm

B JAN シンボル = 31.35mm

C JAN シンボルとアドオンシンボルの間隔 = 2.31mm (7 モジュール)

D アドオンシンボル = 15.51mm

E アドオンシンボルと添字の間隔 = 3.63mm (11 モジュール)

X シンボルの高さ = 印刷段階で 15mm 以上（製本上の断ち落としの縮小を考慮して、
実効 12mm 確保は必須）

【添字】 定期刊行物コード（雑誌）を文字として表記したものを指す。

ポイント数 = 11 級 (7.825 ポイント) 天地 2.75mm 幅 1.75mm

二行で表示（アドオン部分で改行）、右揃え行送りベタ。

書体は OCR-B フォントが望ましいが、どの書体でも可能。ただし、JAN シンボルと天揃えにする。

（コスト等の問題がありますので、発注先のバーコード制作会社と相談の上、決めて下さい）

- ◆定価・本体の表示は、バーコードユニットと左右で 5mm 以上の間隔の確保が必須となります。

< 例図 1 > 標準的なタイプの表記（右開き）



< 例図 2 > 標準的なタイプの表記（左開き）



< 例図 3 > 左右にスペースがない場合の表記（右開き）



< 例図 4 > 左右にスペースがない場合の表記（左開き）

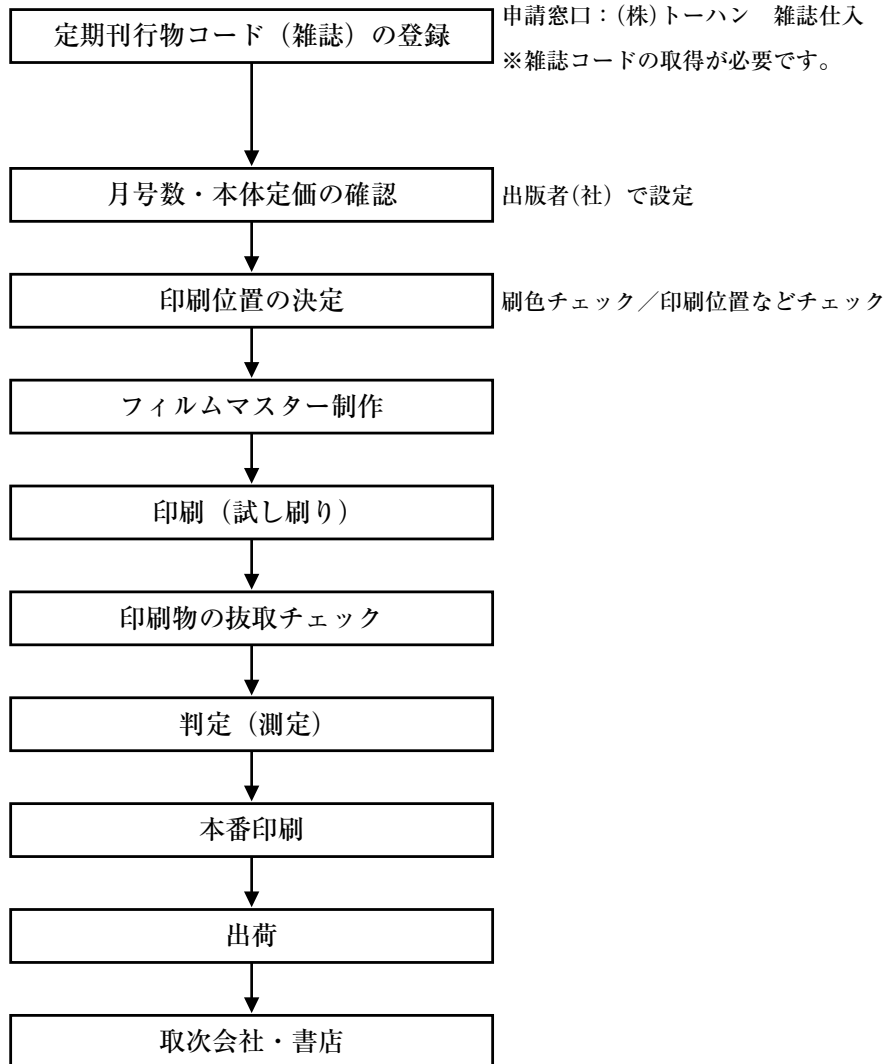


- ◆ バーコードユニットの下部のスペースの有無は問いませんが、シンボルの高さ実効 12mm は厳守して下さい。
- ◆ 例図は実寸ではありませんのでご注意下さい。

5. ソースマーキングの流れ

- ソースマーキング (source marking) とは、雑誌に対してバーコードを出版者(社) が、あらかじめ印刷表示することを指します。
実際にソースマーキングを進めるには、次のような作業手順で行ないます。

【ソースマーキングの手順】



- ◆ 各コードの表記を間違えた場合、流通が出来なくなる恐れがあります。
充分ご注意の上、綿密なチェックを行なって下さい。

6. チェックデジットの計算方法

(1) JAN コードのチェックデジットの計算方法

チェックデジット (check digit) は、読み誤りがないかを自動的にチェックするための数字です。このチェックデジットの計算方法は「モジュラス 10、ウエイト 1、3」と呼ばれ、JIS に定められています。

<例>

●雑誌コード：09971 / 2014 年 7 月号 09971-07 (2014 年)

●JAN コード 491 0 09971 07 4 □
フラグ 予備 雑誌コード 号数 年号 CD

●JAN コードに右端から桁番号を割り振ります。

桁番号	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
JAN コード	4	9	1	0	0	9	9	7	1	0	7	4	CD

●桁番号に基づき、次のように計算します。

①偶数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。

$$9+0+9+7+0+4 = 29$$

②算出された数字を 3 倍にします。

$$29 \times 3 = 87$$

③CD を除いた、奇数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。

$$4+1+0+9+1+7 = 22$$

④②と③の数字を合計します。

$$87+22 = 109$$

⑤合計数の下 1 桁の数字の補数 (10 から引いた数) がチェックデジットになります。

$$10-9 = 1$$

⑥JAN コードは、4910099710741 となります。

※下 1 桁が「0」の場合は、チェックデジットも「0」となります。

【注意】書籍に表示される ISBN コードのチェックデジットとは計算方法が異なります。

(2) アドオンコードのチェックデジットの計算方法

<例>

- 本体価格：952円
- アドオンコード：『00952』
- アドオンコードに左端から桁番号を割り振ります。

桁番号	1	2	3	4	5
アドオン	0	0	9	5	2

- 桁番号に基づき、次のように計算します。
 - ①奇数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。
 $0+9+2=11$
 - ②算出された数字を3倍します。
 $11\times 3=33$
 - ③偶数の桁にあたるコードの数字を、足し算します。
 $0+5=5$
 - ④算出された数字を9倍します。
 $5\times 9=45$
 - ⑤②と④の数字を合計します。
 $33+45=78$
 - ⑥チェックデジットは、「8」となります。

・JANコード等では、チェックデジットそのものが1桁の数字で表記されていますが、アドオンコードでは数字上の表記はされません。

そこで、<例>で求めたチェックデジットを、下記の5桁の数字バーコード表記方法で表しています。これを『パリティチェック方式』と呼びます。

【パリティチェックの算出方法】

チェックデジット	アドオンシンボルのパリティパターン				
	1桁	2桁	3桁	4桁	5桁
0	B	B	A	A	A
1	B	A	B	A	A
2	B	A	A	B	A
3	B	A	A	A	B
4	A	B	B	A	A
5	A	A	B	B	A
6	A	A	A	B	B
7	A	B	A	B	A
8	A	B	A	A	B
9	A	A	B	A	B

【パリティチェックの算出方法におけるA・Bの表し方】

コード	A	B
0	0001101	0100111
1	0011001	0110011
2	0010011	0011011
3	0111101	0100001
4	0100011	0011101
5	0110001	0111001
6	0101111	0000101
7	0111011	0010001
8	0110111	0001001
9	0001011	0010111

7. 定期刊行物コード（雑誌）の登録、更新、変更等の諸手続きについて

雑誌などに定期刊行物コード（雑誌）と JAN シンボルでソースマーキングを行なう場合、出版者（社）は一般財団法人流通システム開発センターに申請・登録をしなければなりません。

この定期刊行物コード（雑誌）は一般財団法人流通システム開発センターが管理・通知することになっておりますが、雑誌コード管理センター（事務局 一般社団法人 日本出版インフラセンター）が登録の受付窓口を代行しています。

また、雑誌コード管理センターは業務を（株）トーハン 雑誌仕入 へ委託しています。

（1）登録について

- ・登録は出版者（社）単位で行ないます（雑誌単位ではありません）。⇒手続の流れは P.14 図 1 を参照
- ・登録対象企業は、定期・連続刊行物の発売元となる出版者（社）、輸入雑誌は日本国内の発売元となる出版者（社）になります。

（2）申請料について

- ・申請料は事前納付制です。
- ・申請料は申請する出版者（社）が発行する全雑誌の年間売上高を下記の申請料料金表に当てはめて算出します。
- ・年間売上高の算出ルール
 - * 出版者（社）の最新の決算期における、送品金額から返品金額を控除した、実売上額です。
 - * 雑誌扱いコミックスとムックの売上は含みません。
 - * 消費税抜きの額となります。
 - * まだ決算を迎えていない新設出版者（社）は売上ゼロ（E ランク）として申請して下さい。

〔定期刊行物コード（雑誌）申請料〕 （消費税抜）

ランク	申請出版者（社）の雑誌の年間総売上高（最新の決算期）	申請料（3年間分）
A	500 億円以上	¥100,000
B	50 億円以上～500 億円未満	¥50,000
C	10 億円以上～50 億円未満	¥30,000
D	1 億円以上～10 億円未満	¥20,000
E	1 億円未満	¥10,000

* 別途消費税が必要です

（3）登録の有効期限

- ・登録月の翌月 1 日から 3 年間とします。
- ・3 年経過毎に更新手続きが必要となります。⇒手続の流れは P.14 図 2 を参照
期限満了の 1～3 ヶ月前に更新案内状が、管理担当者宛に発送されます。
- ・更新期に更新の手続きをされなかった場合は登録が取り消される場合がありますので、ご注意下さい。

(4) 登録の変更等の諸手続きについて

① 定期刊行物コード（雑誌）登録内容変更について

登録してある内容のうち、社名・住所・電話番号・管理担当者が変更になった場合、手続きが必要ですので申請窓口（トーハン雑誌仕入）にご連絡下さい。

* 発売元変更の場合は、現行の雑誌コードが使えなくなる場合もありますので申請窓口まで必ずお問合せ下さい。

② 定期刊行物コード（雑誌）譲渡について

営業権譲渡・合併・分社等の場合、手続きが必要ですので申請窓口（トーハン雑誌仕入）にご連絡下さい。

* 雑誌の一つを譲渡する場合は各取次会社へご連絡下さい。（8コードは申請窓口のトーハン雑誌仕入へ）

* 営業権譲渡の場合は I S B Nコード・雑誌コード両方共に変更する必要があります。

③ 定期刊行物コード（雑誌）取消について

全ての定期刊行物の J A Nシンボル表示が不要になった場合は手続きが必要ですので申請窓口（トーハン雑誌仕入）までご連絡下さい。

* 雑誌の一つが休刊になったという場合は必要ありません。

(5) 雑誌コード登録・変更等の手続きについて

① 新しい雑誌コード(5桁)を取得する際、登録料(一誌 2,858円 + 税)の支払いが必要となります。

登録については申請窓口（トーハン雑誌仕入）へお問合せ下さい。

② 8コード（直販コード）誌変更について

改題（雑誌名変更）、刊行変更（週刊⇒月刊など）、発売元変更、および休刊の際は手続きが必要ですので申請窓口（トーハン雑誌仕入）にご連絡下さい。

* 雑誌コードが変更になる場合がありますので申請窓口まで必ずお問合せ下さい。

* 休刊届を提出した雑誌コードは原則的に再使用できません。

* 8コード以外の変更は、各取次会社へご連絡下さい。

◆ 登録・更新・変更等のご連絡は下記まで ◆

<申請窓口>
(株)トーハン 雑誌仕入

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24
TEL : 03-3266-9530 (直通) FAX : 03-3266-8937

図1 新規登録申請の流れ（雑誌扱いコミックス・ムックを除く）

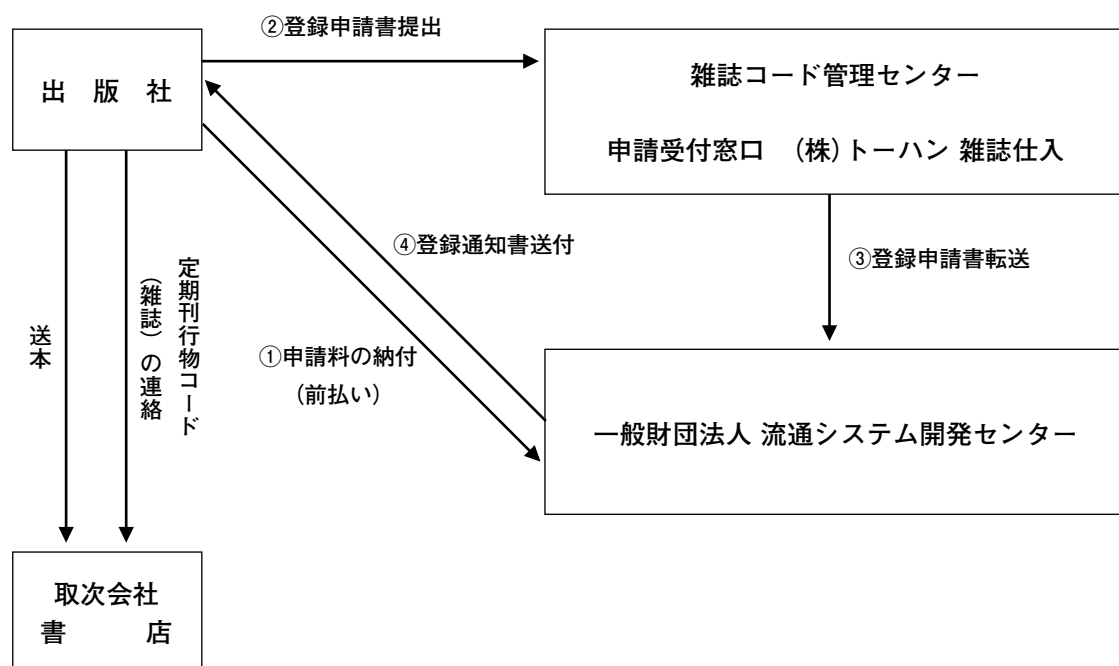
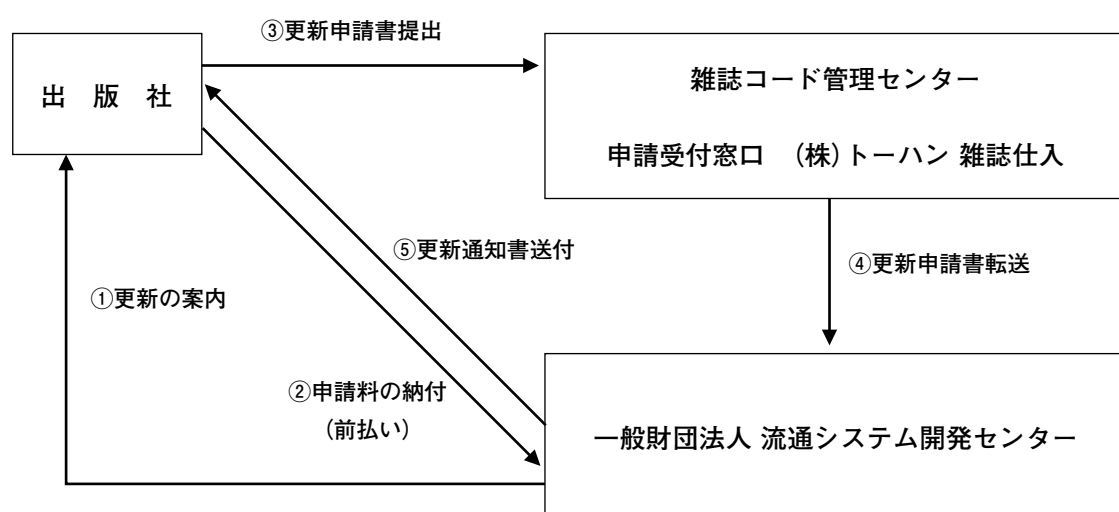


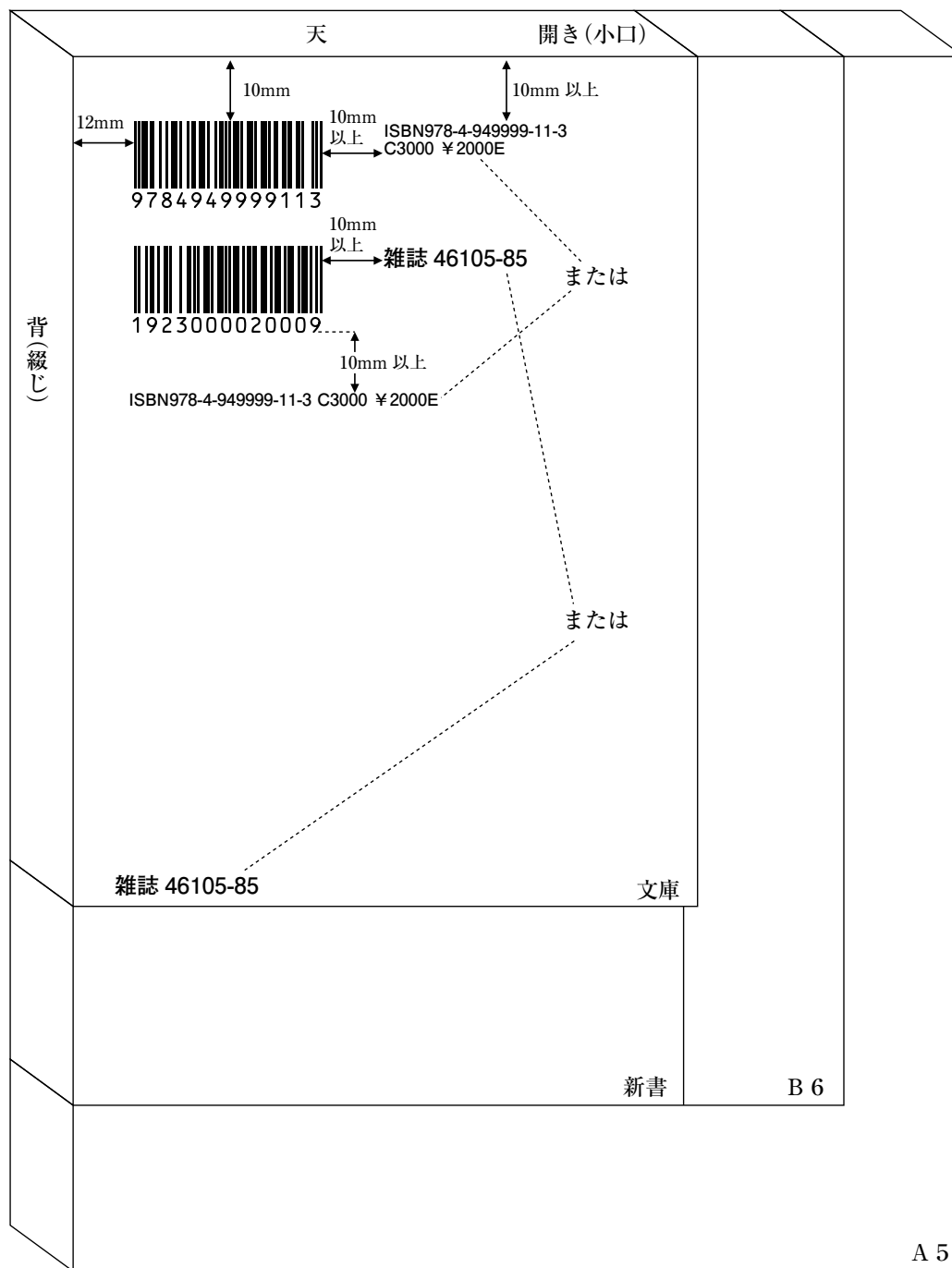
図2 更新申請の流れ（3年毎／雑誌扱いコミックス・ムックを除く）



◎雑誌扱いコミックスのコード表記位置事例

雑誌扱いコミックスの表4への書籍JANコードの印刷位置は背側上部となっています。
右開きコミックスと左開きコミックスでは印刷位置が異なりますので、ご注意ください。

雑誌扱いコミックスのコード
原則表記・印刷位置の事例



(原寸表示ではありません)

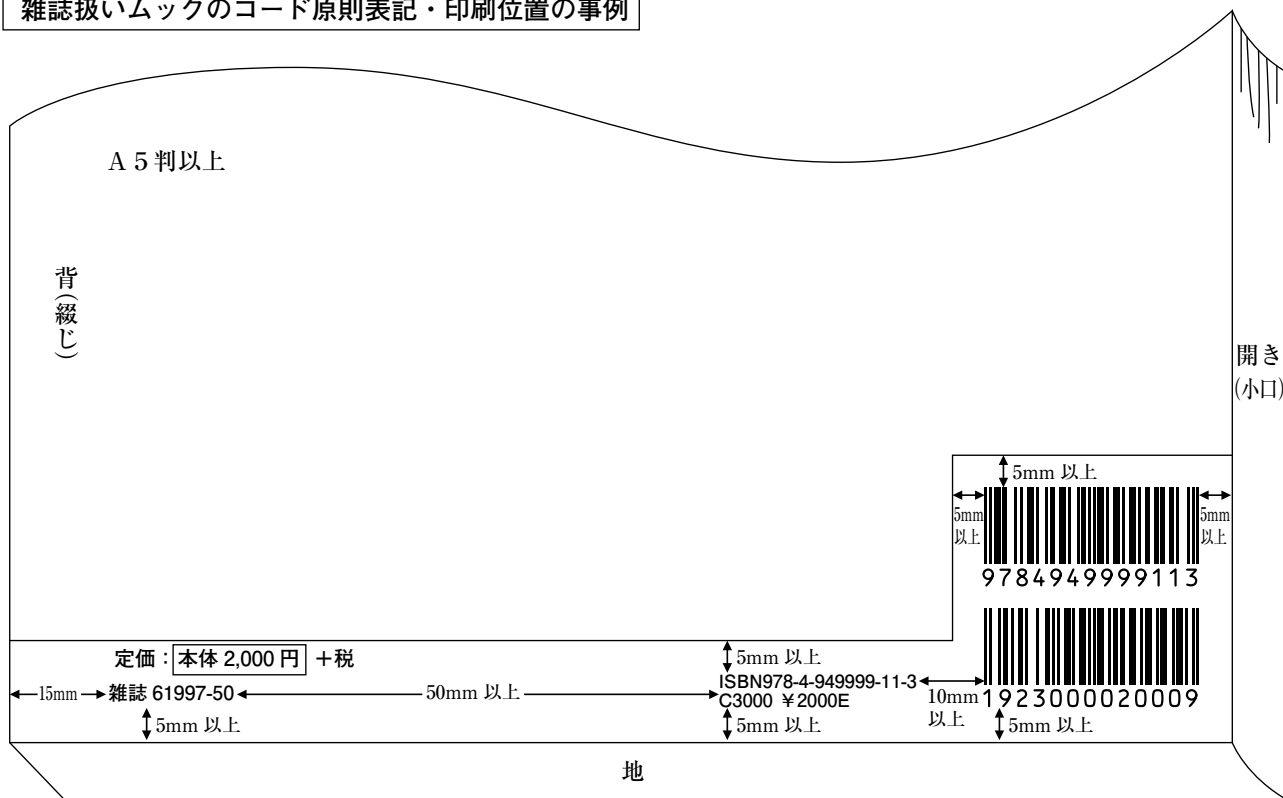
*事例図は右開きコミックスですが、左開きコミックスの場合は左右の配置は逆になります。

◎ムックのコード表記位置事例

ムックの表4への書籍JANコードの印刷位置は小口下部となっています。

右開きムックと左開きムックでは印刷位置が異なりますので、ご注意ください。

雑誌扱いムックのコード原則表記・印刷位置の事例



(原寸表示ではありません)

*事例図は右開きムックですが、左開きムックの場合は左右の配置は逆になります。

ISBNコードと書籍JANコードの詳細につきましては、日本図書コード管理センター発行の手引き『ISBNコード／日本図書コード／書籍JANコード利用の手引き』をご参照ください。

手引きに関するお問い合わせや、ISBNコードならびに書籍JANコードに関するお問い合わせにつきましては下記、日本図書コード管理センターへご連絡ください。

一般社団法人 日本出版インフラセンター内
 日本図書コード管理センター
 〒162-0828
 東京都新宿区袋町6番地 日本出版会館内
 TEL 03-3267-2301 FAX 03-3267-2304
 ホームページ : www.isbn-center.jp
 メールアドレス : info@isbn-center.jp